

吉見中学校学校教育目標

学び合い・認め合い・高め合う ○学ぶ ○磨く ○鍛える

139名の出発

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために3月2日(月)から臨時休業の措置をとりましたが、卒業式の実施も危ぶまれましたが、内容や出席者等を見直し、規模を縮小した形で、3月14日(土)保護者の皆様にご臨席をいただき、第62回卒業式を無事挙行することができました。卒業式練習も前日のクラスごとの30分間のみだったにもかかわらず、厳かな雰囲気の中、卒業生の堂々とした姿が、卒業式を感動的なものとなりました。式の最後を飾る合唱「ふるさと」では、卒業生の自信に満ちた歌声に背筋がゾクゾクするほどでした。立派な卒業生を送り出すことができましたのも、本校の教育活動にご理解とご支援・ご協力をいただいている多くの方々のおかげです。あらためて厚くお礼申し上げます。なお、保護者の方々からは「参列できて良かった。」という声をたくさんいただきました。今回の卒業式の挙行にあたり、ご理解ご協力をいただきました町当局、教育委員会にあらためて感謝申し上げます。

「卒業」という大きな節目にあたり、次のような話をしました。(抜粋)

例年になく暖かな冬を過ごし、さくら堤公園や百穴の桜の開花が待たれる季節となりました。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんに手渡した卒業証書は、中学校卒業の証であると同時に成長の証でもあります。(中略)

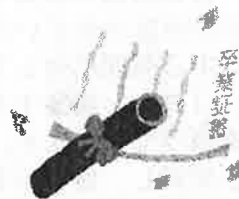
皆さんは今日をもって、歴史と伝統ある吉見中学校を卒業し、自分で選んだ道を行んでいくことになります。歩む道は違いますが、吉見中学校の卒業生であるという誇りを胸に、未来に向けて大きく羽ばたいてください。

本来であれば、皆さんの晴れの門出を在校生等も含め祝福すべきところでしたが、現在の社会状況から来賓及び在校生の出席ができませんでした。しかし、この場に居合わせることができなかった方々も皆さんの卒業を祝福しています。残念な気持ちもあるかと思いますが、皆さんの中学校3年間の功績は色褪せることはありません。そして、今日の卒業式が特別な卒業式として皆さんの記憶に一生残ることと信じています。

さて、皆さんの門出にあたり、二つお願いがあります。

一つめは、「社会の役に立つ」ということです。札幌農学校の初代教頭 クラーク博士の有名な言葉“Boys, be ambitious!”(少年よ、大志を抱け)の後には、「お金や名声という消えゆくものの為ではなく、人間としてどうあるべきか、その道を成し遂げるために、大志を抱け!」と続きます。皆さんも一人の人間として、9年前の東日本大震災や昨年10月の東日本台風、新型コロナウイルス感染症など今まで人間が経験したことがない自然事象やその後の復興等に対して何が出来るか、そして、自然事象に限らず、人や社会のために何が出来るかを、真剣に考え、大きな夢、高い志をもった人間であって欲しいと願っています。日本の未来は、これからの日本を背負って立つ皆さんの双肩にかかっています。

二つめは、「諦めずに、挑戦する」ということです。皆さんはこれから、夢や志の実現に向かって、努力していくと思います。しかし、努力が、いつ報われるかは誰にもわかりません。勉強も、部活動も、仕事も、何度やってもうまくいかないことがあるものです。もうだめだ、限界だ、諦めようと思うことも、きっとあると思います。しかし、皆さんには3年間、ともに歩んできた仲間も、先生方もいます。くじけそうになったときには、頼ってください。きっと、力になってくれます。決して、自分の道を自ら塞いでしまわずに、諦めずに挑戦し続ける人間であってください。パナソニックの創業者 松下幸之助さんは、「志を立てて事を始めたら、少々うまくいかないとか、失敗したというようなことで簡単に諦めてしまっはいけないと思う。一度や二度の失敗でくじけたり諦めたりするというような心弱いことでは、本当にものごとをなし遂げていくことはできない。」と述べています。(以下省略)



特別の教科 道徳

2月12日(水) 聖徳大学大学院
教職研究科 教授 吉本 恒幸 先生
を指導者としてお招きし、「特別の



教科 道徳」の研究授業を浅見教諭が2年3組で行いました。吉見中学校では、道徳の教科化にともない埼玉県教育委員会から令和元年度及び2年度の2年間、道徳教育推進モデル校事業の委嘱を受け、「特別の教科 道徳」の研究に取り組んでいます。研究授業はその中心的取組であり、昨年12月17日(火)の神田教諭の1年3組での研究授業に引き続き吉本先生にはご指導いただきました。

浅見教諭の授業では、コの字型に机が配置されていたり、グループでの話し合いではホワイトボードが用意されていたりと、様々な意見を言える工夫がされていました。また、自分の考えを書くのは中心発問に対してのみであり、生徒同士あるいは先生と生徒の対話に重点化されていました。

「考え、議論する道徳」の授業を目指し、引き続き、研究を進め、教員一人一人の指導力の向上を図っていきます。また、「考え、議論する道徳」の授業を通じて、生徒一人一人が積極的に意見を発表し、他者の多様な意見を参考に自分の経験を内省化(自分の考えや行動を深く省みる)できる生徒を育てていきます。

白銀の世界へ!

雪不足が心配されましたが、十分な降雪もあり、1年生スキー宿泊学習が2月26日(水)・27日(木)の2日間、菅平高原で実施されました。



事前準備から宿泊学習の2日間を通して実行委員を中心によくまとまり、仲間と共に、スキーを楽しみ、自然の雄大さにふれ、友のよさや協力することのすばらしさを学び、絆を深め、すべてのことに夢中になった宿泊学習でした。

おめでとうございます

埼玉県生徒表彰、埼玉県体育協会体育優良生徒表彰、埼玉県産業教育振興優良生徒表彰については、卒業生各学校1名(体育優良生徒表彰は男女各1名)のみ表彰されます。なお、2月号に埼玉県児童生徒美術展の結果は

掲載いたしました。野坂さんについて確認が不十分で掲載されておりませんでした。大変申し訳ありませんでした。あらためて掲載いたします。

【埼玉県生徒表彰】市村 有未(3年)

【埼玉県体育協会体育優良生徒表彰】上田 光(3年) 佐藤 未来(3年)

【埼玉県産業教育振興優良生徒表彰】古寺 桃子(3年)

【埼玉県児童生徒美術展】特選 野坂 漣(3年)

3学期稲穂賞

「稲穂賞」は、より良い校風づくりのために設けられた本校独自の表彰制度で、学校(学級)内で他の模範として活躍している生徒を学期ごとに表彰しています。3学期の稲穂賞受賞者が次のとおり決定しました。各学級

で多方面にわたり地道に実践を積み上げた生徒です。模範となる行為への賞讃と、新年度のさらなる活躍を期待しています。

	1組	2組	3組	4組
1年生	牧野 光希	梶田かなた	小松 源大	黒澤 花菜
2年生	吉崎 杏南	栗原帆乃香	花野ちはる	稲垣 鮎香

【4月の主な行事】

※諸事情により変更する場合がありますのでご了承ください。

7日(火)	準備登校(新3年生)	20日(月)	1年生保護者会
8日(水)	始業式・入学式	21日(火)	3年生保護者会
10日(金)	給食開始・新入生歓迎会	22日(水)	埼玉県学力・学習状況調査
13日(月)	発育測定、避難訓練	23日(木)	2年生保護者会
15日(水)	開校記念日(来年度より休業日となります) 交通安全教室	29日(水)	昭和の日

元号が平成から令和に変わったこの一年、保護者並びに地域の皆様には、本校の教育活動に対し、ご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございました。来年度も生徒のより良い成長のために吉見中教職員一丸となって教育活動を進めてまいりますので、引き続き、ご理解ご協力の程、お願いいたします。